

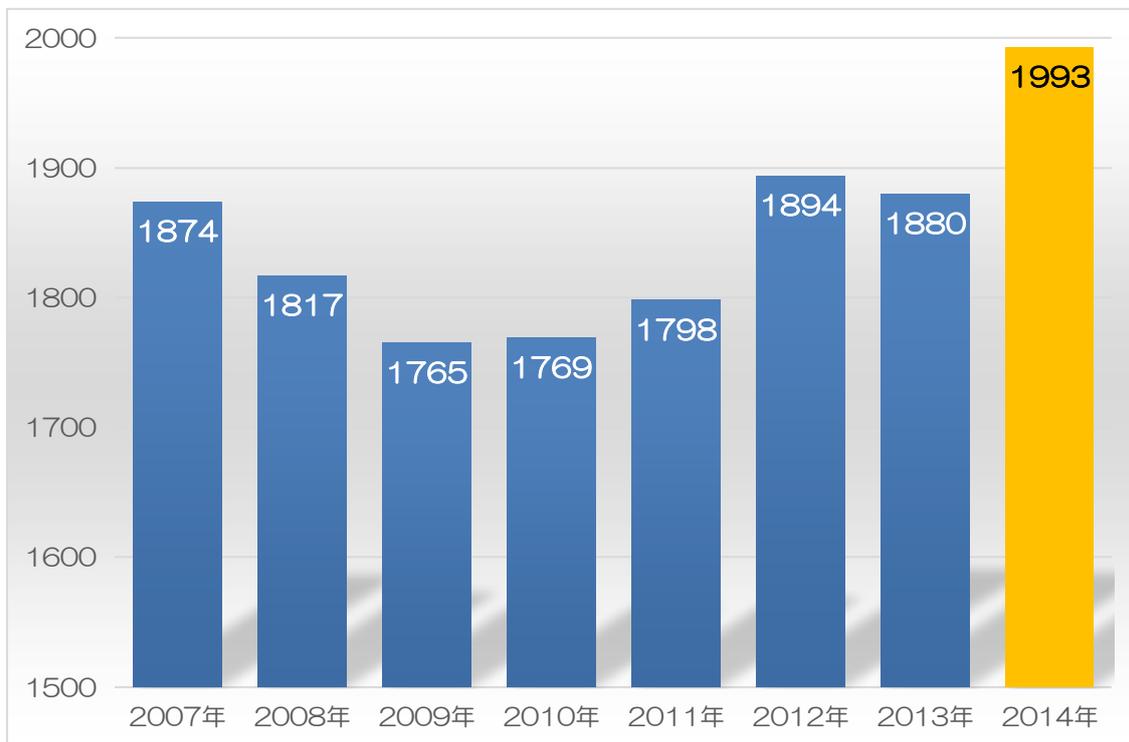
院内がん登録について

院内がん登録とは、入院・外来を問わず、各病院で把握された全ての「がん（＝悪性腫瘍）」について、診断・治療・予後に関する情報を集め、整理・保管し、集計・分析を行う仕組みのことです。各施設で集められたデータは、統一された様式で、国立がん研究センターに定期的に提出しています。

当院では、がん診療連携拠点病院の指定要件に則って、2007年1月1日以降に把握された「がん（＝悪性腫瘍）」を登録対象としております。1つの腫瘍に対して1例の登録ですが、登録された腫瘍の再発や転移については、登録対象とはなっておりません。また、脳腫瘍・下垂体腫瘍・髄膜腫については、原則として、良性であっても登録対象としております。さらに、セカンドオピニオンについても、登録対象としておりません。

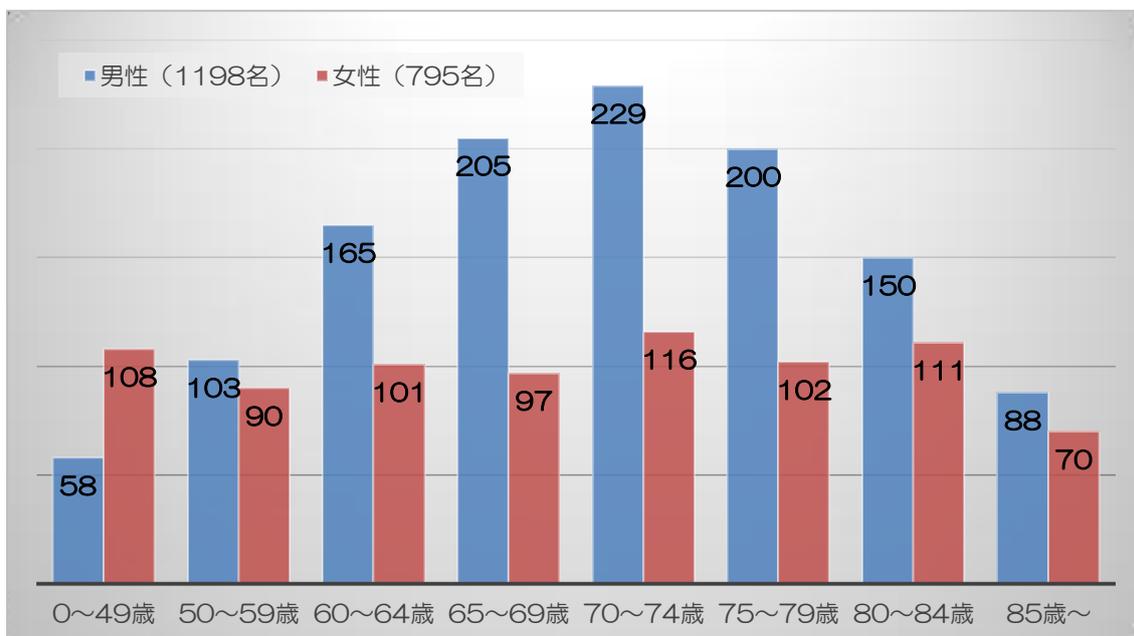
以下に、当院の院内がん登録の**2014年症例登録データの分析結果**を報告いたします。

グラフ① 院内がん登録総件数の推移



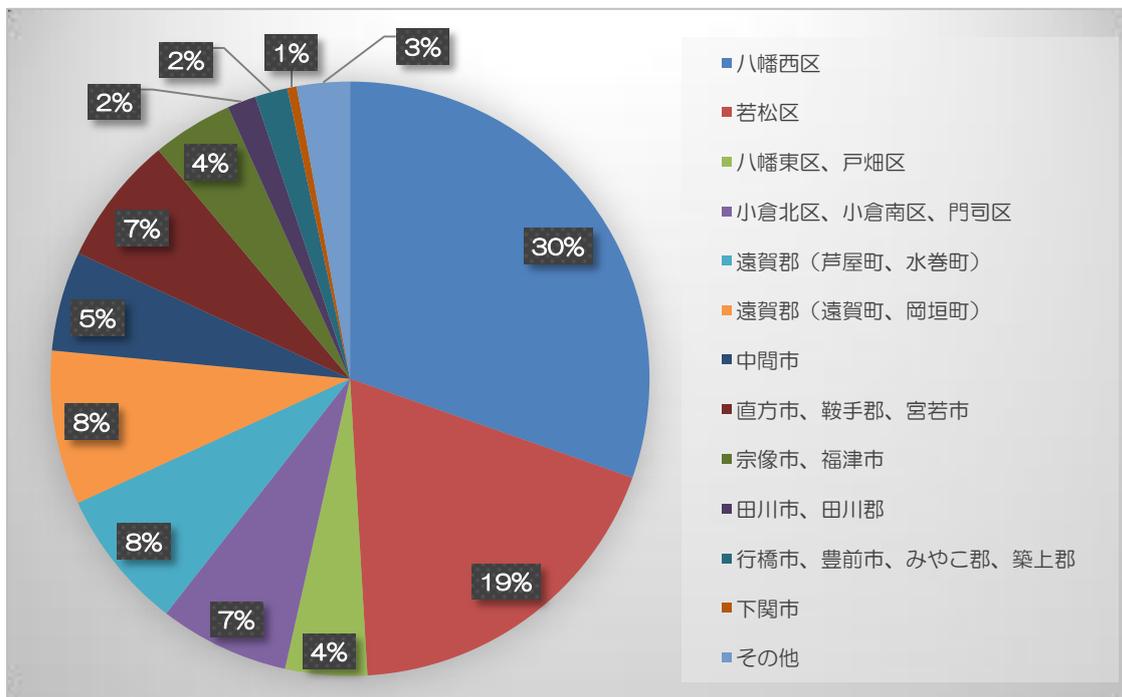
※院内がん登録件数は、多少のばらつきはありますが、最近は増加傾向にあります。

グラフ② 年齢層・性別件数



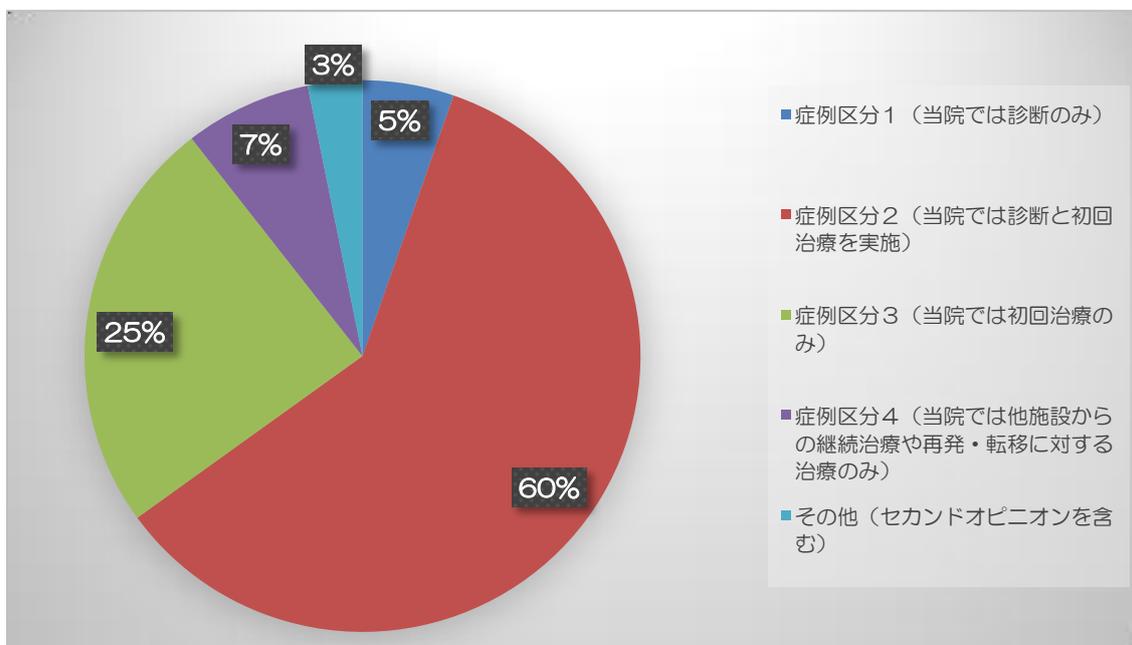
※60歳代と70歳代で6割を占めています。総数では男性が多いですが、49歳以下に関しては、女性が多いようです。

グラフ③ 患者居住地割合



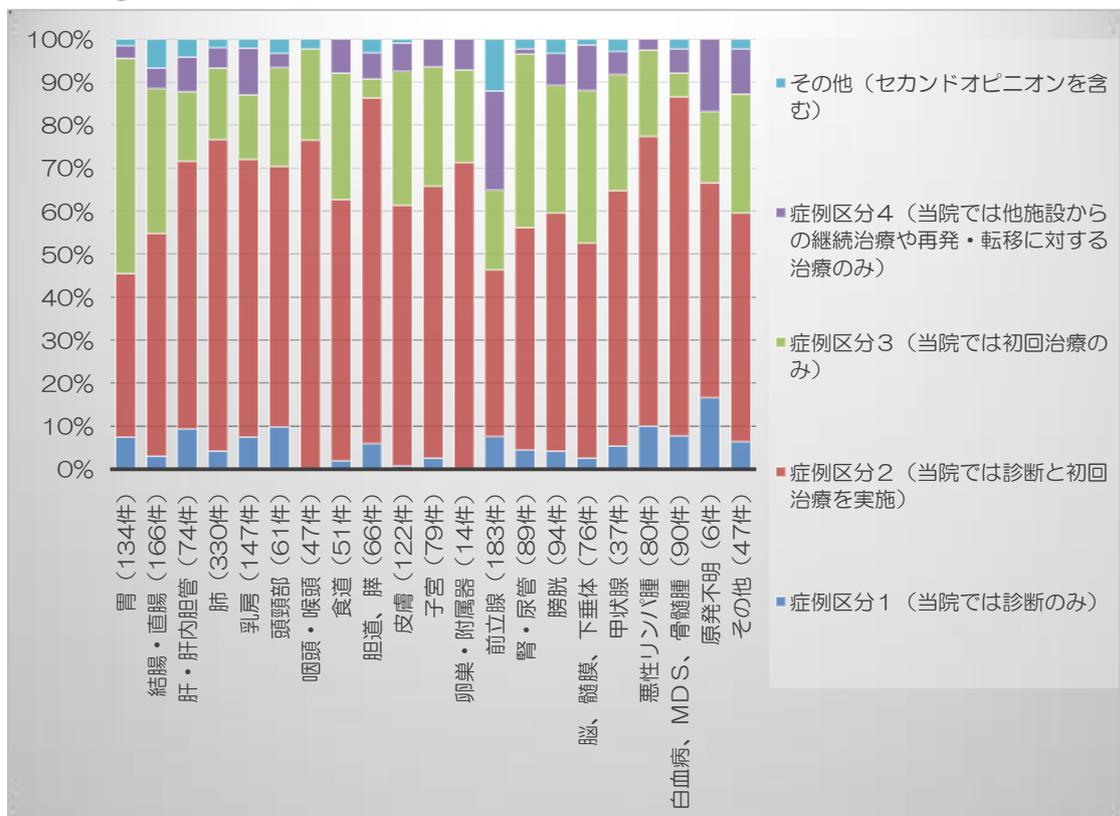
※八幡西区や若松区、遠賀郡だけでなく、他の地域からも多数の患者さんが受診されています。

グラフ④ 症例区分割合



※当院にて初回治療を受けられた方は、85%となっています。

グラフ⑤ 部位別症例区分別割合

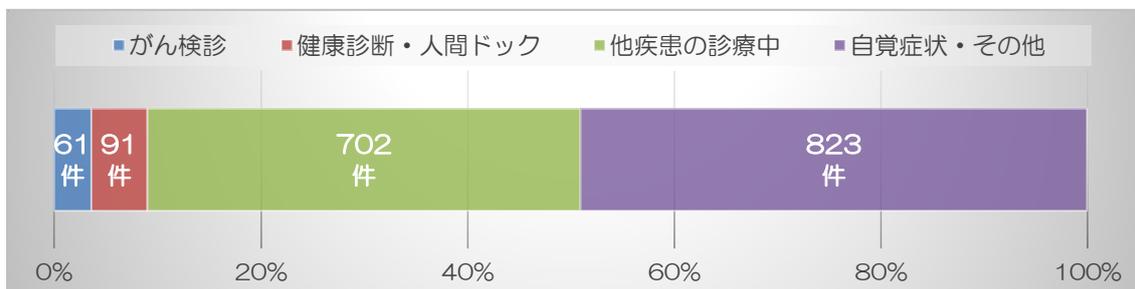


※前立腺がんにおける症例区分4の割合が、他のがんと比べて多いようです。

以下は、2014年登録症例のうち、当院にて初回治療を行った1677件を分析しています。

初回治療とは、診断に基づいて計画される初手の治療のことを指し、①がん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）を及ぼす治療、②症状の軽減を及ぼすことを意図して行われた治療（たとえそれが、根治的でない、もしくは期待する治療効果がえられなかった場合も含む）の両者を含み、かつ、当院で行われた治療のみを対象としています。

グラフ⑥-1 がんを発見するに至ったきっかけの件数・割合

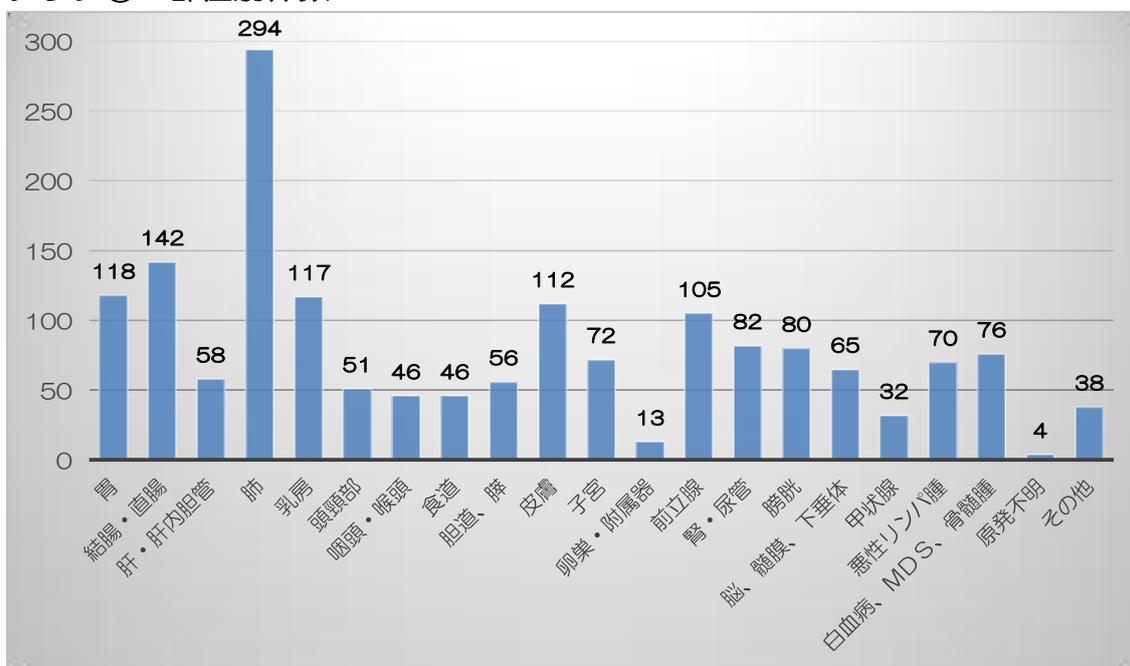


グラフ⑥-2 当院を受診するに至った経緯の件数・割合



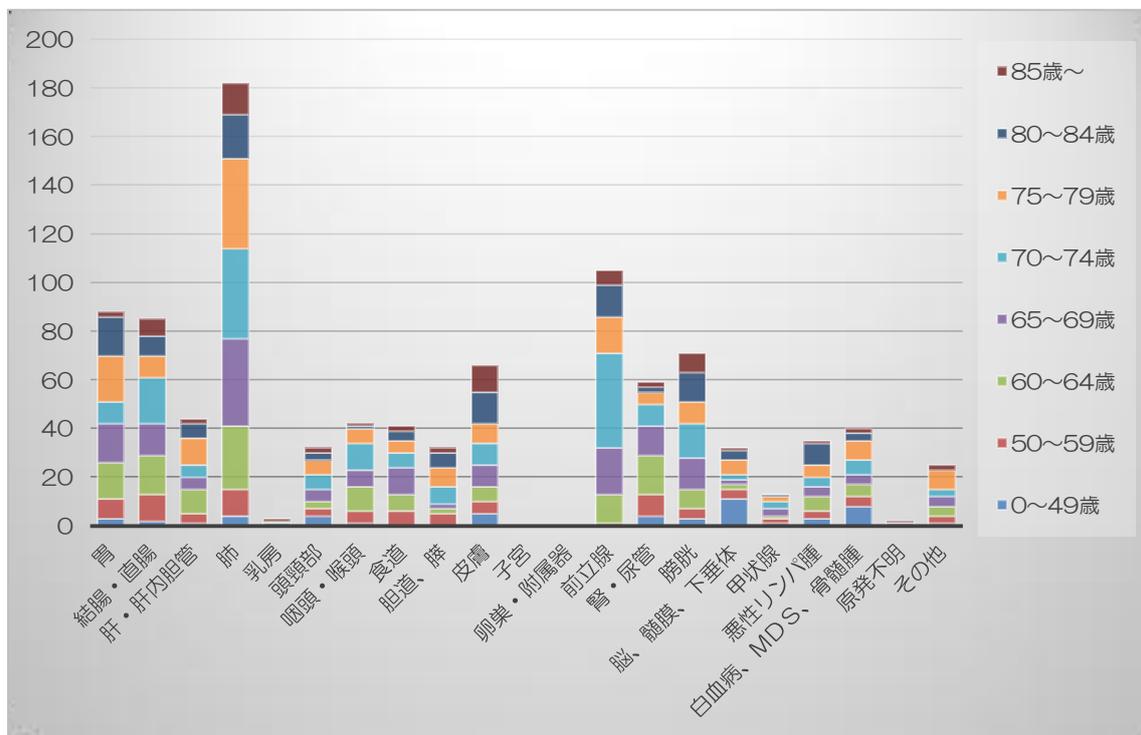
※自覚症状があつてがんが見つかり、かかりつけ医や近くの病院からの紹介で、当院を受診された方が多いようです。

グラフ⑦ 部位別件数

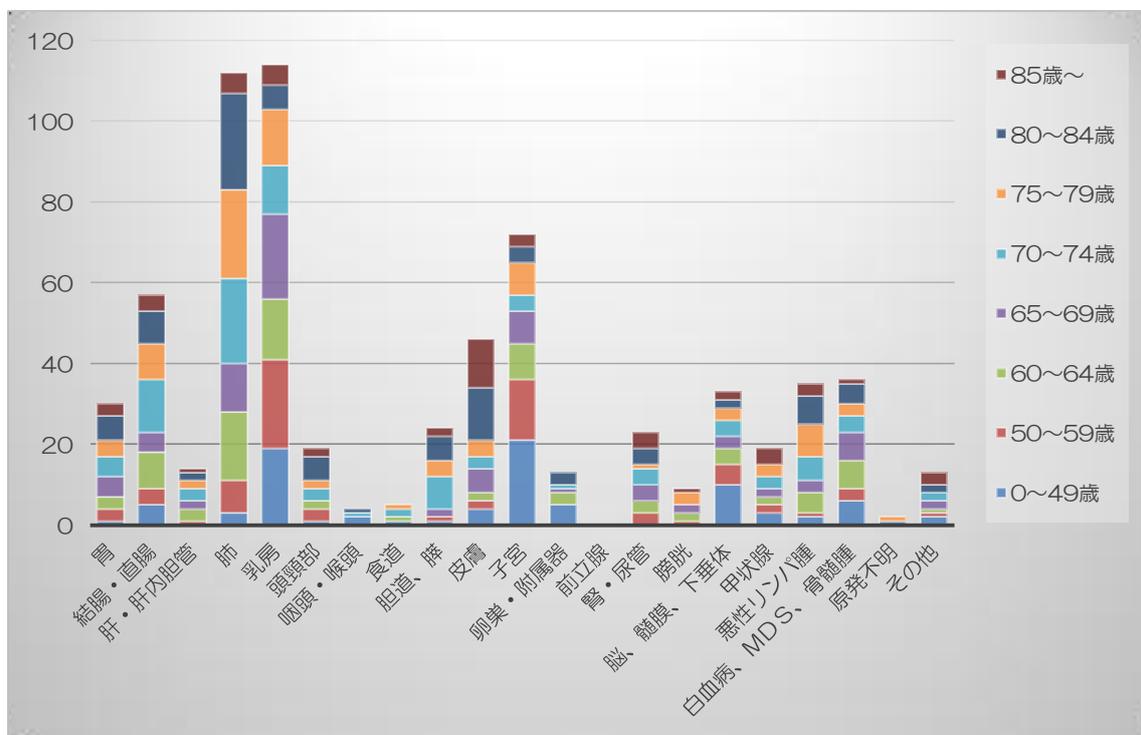


※肺がんが最も多いですが、様々な種類のがんを診療しております。

グラフ⑧-1 男性、部位別×年齢区分別件数

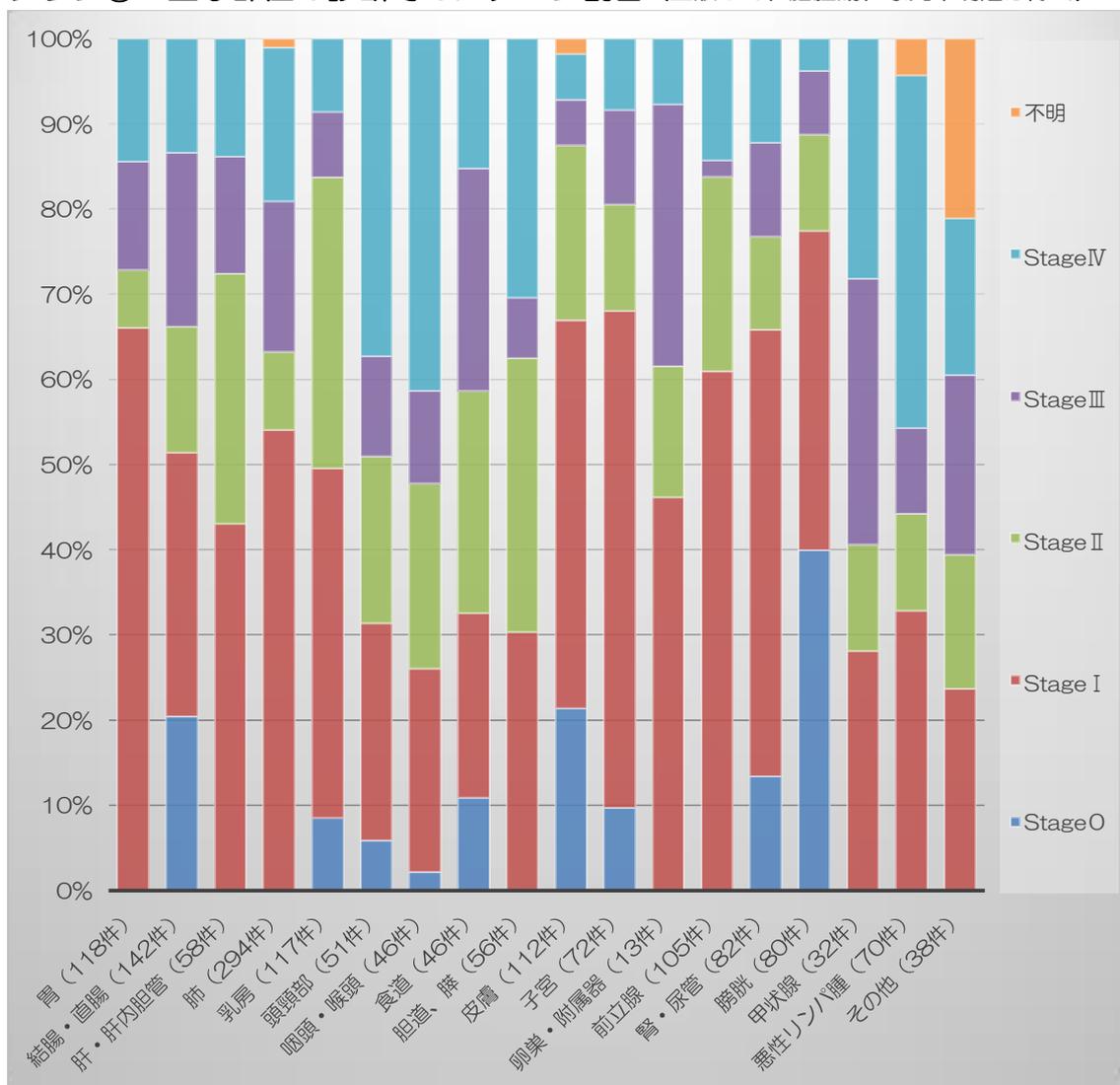


グラフ⑧-2 女性、部位別×年齢区分別件数



※男女で、特徴が出ています。特に女性の乳がん、婦人科がんの若い世代（59歳以下）の占める割合が多いです。

グラフ⑨ 主な部位の診断時のステージ割合（血液がん、脳腫瘍、原発不明癌は除く）

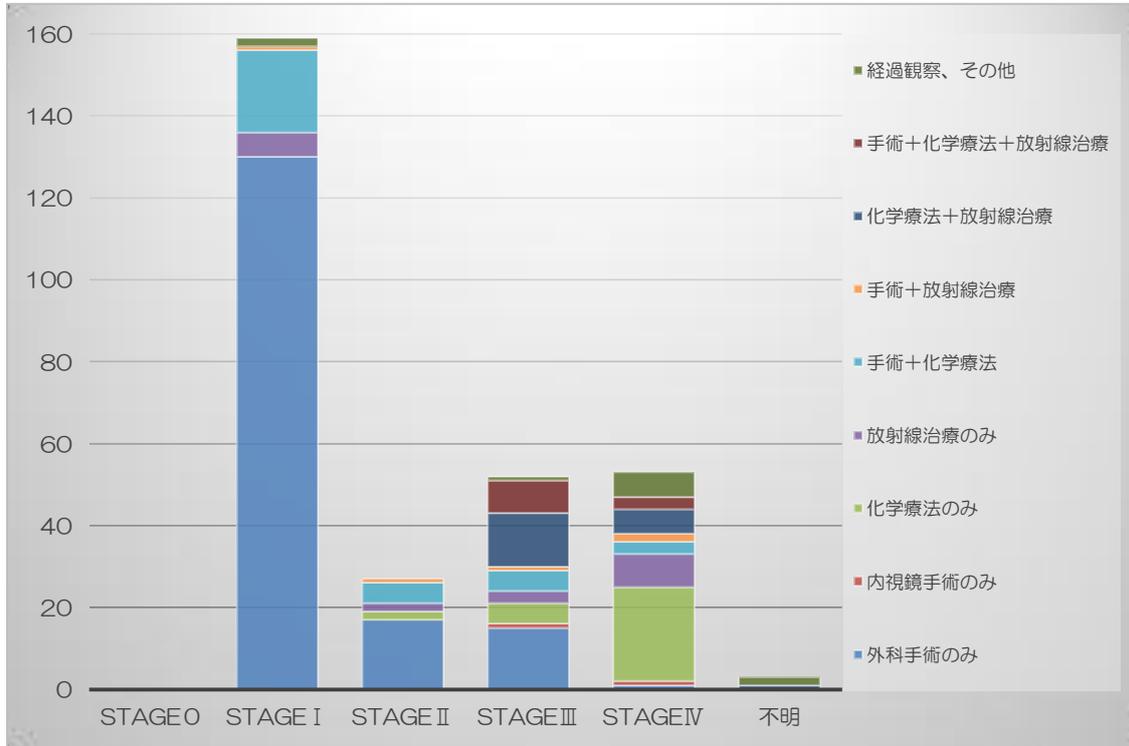


※いずれのがん種においても、様々な Stage（進行の度合い）の患者さんを受け入れています。StageⅢ、Ⅳといった進行期の割合が多いがん種もあります。

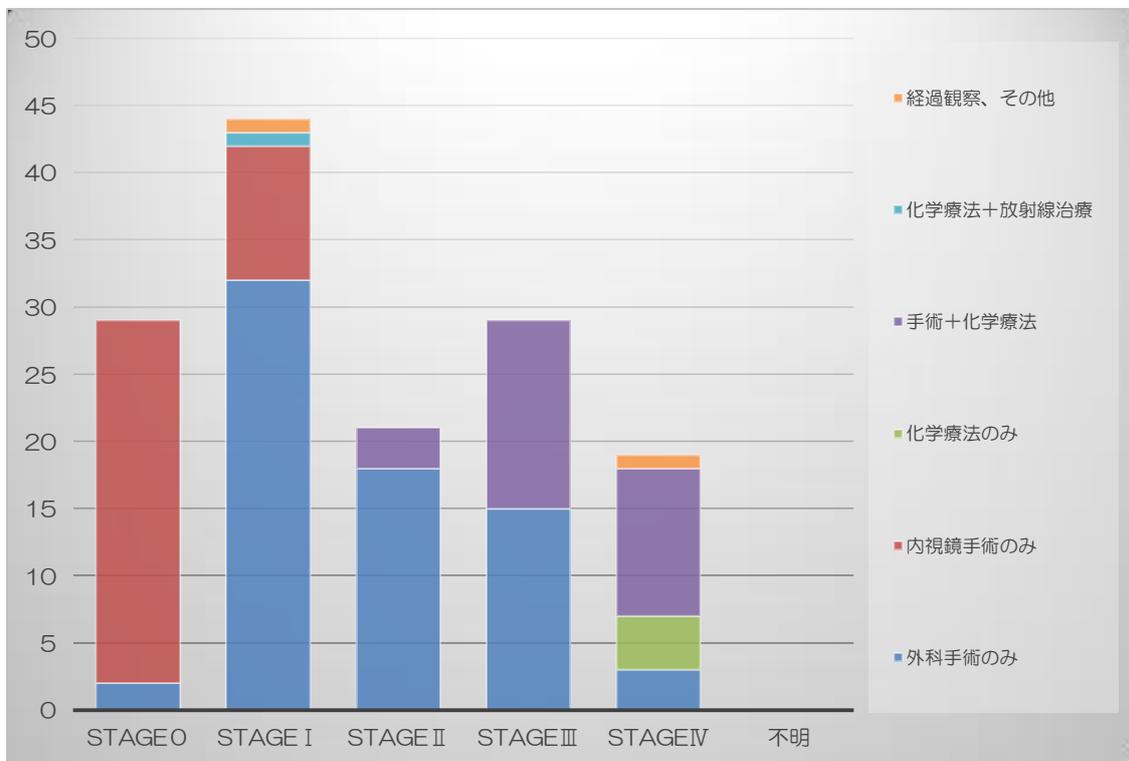
次に、当院で登録症例の多い6部位における、当院で実施した初回治療内容を示します。一連の計画でありながらも、当院と他施設で共同して治療が行われた症例については、当院で行われた治療のみ反映しております。逆に、他施設で開始した一連の初回治療については、件数より除外しております。

いずれの部位も、早期がんでは、手術のみや放射線治療のみなど、単独の治療を実施していますが、進行がんでも様々な治療法を組み合わせた豊富な治療の選択肢を提供し、集学的治療を実施しています。

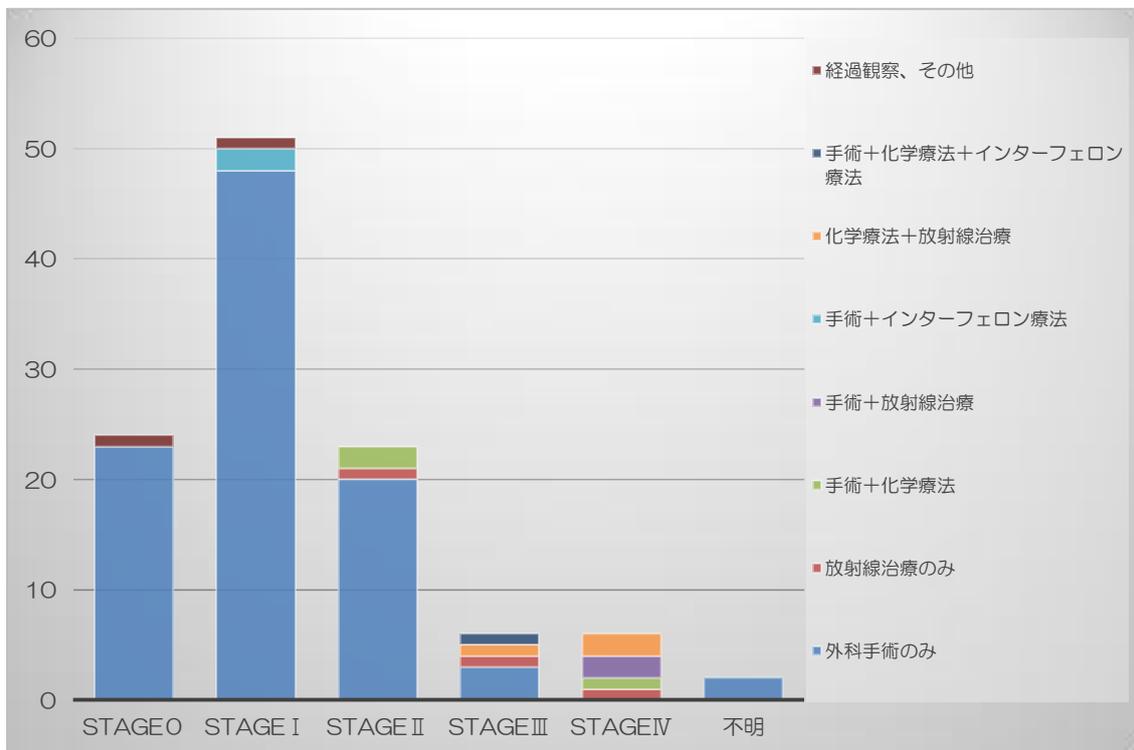
グラフ⑩ー1 肺がん（294件）



グラフ⑩ー2 結腸・直腸がん（142件）



グラフ⑩-5 皮膚がん（112件）



グラフ⑩-6 前立腺がん（105件）

